【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年5月22日(2024.5.22)

【国際公開番号】WO2023/032939
【出願番号】特願2022-560527(P2022-560527)
【国際特許分類】
C09D129/04(2006.01)
C09D 7/63(2018.01)
B32B 27/30(2006.01)
C03C 17/32(2006.01)
【FI】
C09D129/04
C09D 7/63
B32B 27/30 102
C03C 17/32 A

【手続補正書】
【提出日】令和4年10月4日(2022.10.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基材の保護皮膜形成に用いられる保護皮膜形成用樹脂組成物であって、
ポリビニルアルコール樹脂、並びに、可塑剤及び水からなる群より選択される少なくとも１種を含有する、保護皮膜形成用樹脂組成物。
【請求項２】
回転式粘度計で測定した場合の粘度が１ｍＰａ・ｓ以上３Ｐａ・ｓ以下である、請求項１に記載の保護皮膜形成用樹脂組成物。
【請求項３】
ガラス基板との温度２３℃、湿度６０％ＲＨにおける接触角が１０°以上７５°以下である、請求項１又は２に記載の保護皮膜形成用樹脂組成物。
【請求項４】
可塑剤は、グリセリン、ジグリセリン、ジエチレングリコール、トリメチロールプロパン、トリエチレングリコール、プロピレングリコール、ジプロピレングリコール、ポリエチレングリコール及びポリプロピレングリコールからなる群から選択される少なくとも１種を含む、請求項１又は２に記載の保護皮膜形成用樹脂組成物。
【請求項５】
請求項１又は２に記載の保護皮膜形成用樹脂組成物からなる、保護皮膜。
【請求項６】
保護皮膜の基材と反対側主面の表面粗さＳａが０．１μｍ以上、３０μｍ以下である、請求項５に記載の保護皮膜。
【請求項７】
保護皮膜の基材と反対側主面の表面粗さＳｚが１０μｍ以上、３００μｍ以下である、請求項５に記載の保護皮膜。
【請求項８】
保護皮膜の基材と反対側主面の表面粗さＳｄｒが０．１以上、３０以下である、請求項５

に記載の保護皮膜。
【請求項９】
保護皮膜の基材側主面の表面粗さＳａが０．０５μｍ以上、１５μｍ以下である、請求項５に記載の保護皮膜。
【請求項１０】
保護皮膜の基材側主面の表面粗さＳｚが８μｍ以上、２４０μｍ以下である、請求項５に記載の保護皮膜。
【請求項１１】
保護皮膜の基材側主面の表面粗さＳｄｒが０．０１以上、１５以下である、請求項５に記載の保護皮膜。
【請求項１２】
請求項５に記載の保護皮膜と基材とを有する、積層体。
【請求項１３】
保護皮膜は、更に、基材側に可塑剤層を有する、請求項１２に記載の積層体。
【請求項１４】
前記可塑剤層はポリビニルアルコール樹脂を含まないか、又は、前記可塑剤層のポリビニルアルコール樹脂含有量は、保護皮膜のポリビニルアルコール樹脂含有量よりも少ない、請求項１３に記載の積層体。
【請求項１５】
保護皮膜と基材との剥離強度が、１８０°剥離強度試験で２．５Ｎ／２５ｍｍ以下である、請求項１４に記載の積層体。